

タイピングゲーム“宇宙打”の新バージョンが登場しました

- 星見温泉ツアー -



高梨直純 (東大D1/天文学教育研究センター所属) 平松正顕 (東大D1/国立天文台ALMA推進室所属)

●企画概要●

温泉につかりながら、天文学を楽しむ機会の提供を目指す。

1. はじめに

ちょっとひなびた感じが郷愁をそそる片田舎の温泉。露天風呂につかりながら夜空を見上げると、そこには満天の星。街では星を探すのも難しかった夜空に、どれを結べば星座になるのか迷うくらいの星々があらわれます。ああ、こんなことならもっとまじめに天文学をやっておけば良かった…。

そんなあなたに天プラが提案するのが、星見温泉ツアー。温泉も天文学も楽しんでしまおうという贅沢な企画です。我々がどんなことを考えているのか、ご説明しましょう。

2. コンセプト

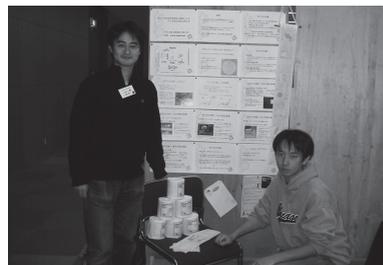
天文学に絡んだツアーは、意外と存在しています。例えば、各地の天文サークルなどでは星見を兼ねたハイキング、キャンプなどが企画されていますし、旅行会社などでは日食ツアーなどを募集しています。しかし、世の中にはサークルに入るのが億劫な人もいでしょうし、何十万円とかかる海外日食ツアーなんぞは初心者には手が出ません。もっと一般の方が気軽に参加出来るツアーというものはないのでしょうか？そこで我々が目を付けたのが、最近流行のエコ体験ツアー。都会の喧噪を離れ、自然を積極的に楽しむためのツアーです。例えば農作業を体験してみるツアーなどはかなりの人気だそうです。以下に私たちの考えているプログラム案を示してみましょう。

3. 例えばこんなプログラム

天プラ温泉ツアー、行き先は街からバスで2時間で行ける××温泉。バスの中では、ガイドのお姉さんと一緒に季節の星座や天文学の歴史についてのレクチャーが行われます。宿に着いたら、夕食までは自由時間で各自好きに散策していただきます。夕食後、まずは腹ごなしに宴会場で最新の天文学講義です。ハッブルやすばるなどの撮像した最新の天文画像を眺めながら、コンダクターの話をふんふんと聞きます。ほどよく頭が疲れてきたら、いよいよ温泉です。露天風呂につかりながら、今度は満天の星空の下で天然プラネタリウムの始まりです。コンダクターの解説の下、都会では見ることの出来ない様々な星座を楽しんでいただきます。お風呂を楽しんだ後は、今度は望遠鏡を用いた観望会です。ここでは天体写真の撮り方などもレクチャーします。あとは寝るだけですが、希望者には特別に屋上に布団を敷いてもらい、流れ星を数えながら寝ることも可能です。うーん、お腹がいっぱいになりそう。問題は雨が降った場合ですが、その時は右ページの大平さん開発のメガスターをお借りして大広間に満天の星空を再現できたら、十二分に楽しんでもらえると思います。また、実習系のレクチャーもたくさん用意がありますので、雨の時にはがつつりという講座を設けても良いかも知れませんね。ここをお読みの旅行会社の皆さん、ぜひ一緒に企画してみませんか？



ちょっと郊外に出れば、星はたくさん見えてきます。温泉だと、長湯をすればするほど見える星の数が増えてくるなんて利点も……？



天文学会史上初！トイレトベーパーつきポスターの前で写真に収まる高梨(右)と平松(左)。4月から無事に博士課程へ進学しました。